

社会福祉法人 上越老人福祉協会

令和 7 年度 事業実施状況報告

社会福祉法人 上越老人福祉協会

目 次

1. 全体評価	P 1
(1) 収支状況（前年比）の状況	
(2) 資源価格の高騰その他経費の増加への対応	
2. 各事業の状況	P 2
3. 社会福祉法人フランシスコ第三会マリア園事業の譲受に関する準備状況	P 4
(1) 統括会議および各分科会による事業譲受の検討	
(2) 事業統合前の最終調整	
4. 高品質かつ安定的なサービスの提供	P 4
(1) 安心されるサービスの提供への取組	
(2) 食事サービスの安定化に向けて	
(3) 感染症対応について	
5. 人材確保・定着への取組	P 5
(1) 職員採用、定着への取組	
(2) 介護員養成研修及び専門的研修の実施	
6. 各管理部の報告	P 5
(1) 総務部	
(2) 事業部	
(3) 財務部	
(4) 情報部	
7. 食事サービスプロジェクトの状況の状況	P 7
8. 研修関係	P 8
(1) 法人内研修	
(2) 受託事業研修	
9. 各事業（グループ）の報告	
(1) いなほ園グループ	P 1 1
(2) 新光園グループ	P 1 3
(3) 高田の郷グループ	P 1 5
添付（資料集）	P 1 7

令和7年度法人事業実施状況報告

1. 全体評価

(1) 収支状況(前年比)の状況

①事業活動計算書

【サービス活動収益】 2,605,817 千円 (前年比)73,970 千円増加

収入は特養、通所リハビリの高率及び老健の加算型の継続した取り組みによる増収と二つの小規模多機能型居宅介護の大幅な改善、さらには種々補助金及び支援金等の補助金収益の増加が前年比増の主要因となった。いなほ園(98.7%)の利用率は、ここ数年で最大となるなど特養3事業合計で前年比 12,960 千円増加。また、老健高田の郷は前年比 12,276 千円増加、高田の郷通所リハビリも前年比 5,451 千円増加した。

小規模多機能型居宅介護事業は、光寿の家が開所以来の高率(97.3%)となり前年比 11,001 千円改善、本町楽寿の家も善戦し 8,877 千円増加し2事業の改善が増収に大きく貢献した。

なお、補助金・支援金については物価高騰支援パッケージ(食費 6,000 円、光熱水費 18,000 円×定員数)による支援金 25,087 千円と賃上げに関する補助金 18,906 千円等、計 46,951 千円の補助金収入(前年比 32,852 千円増)があった。

半面、2つのデイサービスセンター(いなほ園、新光園)は利用率と介護度の低下により前年比で減収となった。いなほ園は上期、利用者数の体調不良による終了増が影響、新光園は下期に契約者数の減少による利用率の低下がみられどちらも苦戦した。なお、新光園については周辺エリアの同事業が飽和の状態になっているため早期に改善に向けた戦略を立てることとする。

【サービス活動費用】 2,554,853 千円 (前年比)37,199 千円増加

人件費は国の最低賃金の引上げと施策による賃上げに対応するため、処遇改善加算金や補助金によるベースアップ、それに伴う法定福利費の増加により前年比 15,680 千円増加した。

事業費は前年比 870 千円増加。電気代は節減に努めたが補助金の期間減少減額により 2,683 千円増加したが、ガス代△1,886 千円、水道代△1,796 千円減少した。なお、依然続く価格の高騰により給食費 4,551 千円、紙おむつ代は 902 千円増加した。

事務費は物価高騰と最低賃金引上げの影響、高田の郷の洗濯を外部業者に切り替えたことにより業務委託費は 11,530 千円増加した。また、手数料は人材紹介手数料が 7,449 千円増加、租税公課は消費税の過年度分の納税のため 4,435 千円増加した。

【当期活動増減差額】 50,964 千円（前年比）36,770 千円増加

介護保険事業収益は前年比で増加したものの、ベースアップと最低賃金引上げによる人件費の増加、また依然続く物価高騰のあおりを受け、厳しい状況での推移となったが、下期に大幅な補助金・支援金の支給があったため当期活動増減差額は前年比 42,314 円増加した。

②資金収支計算書

【当期資金収支差額】 △12,496 千円（前年比）△35,501 千円減少

積立目標額を超える 77,156 千円（前年比 35,156 千円増）を積み立てた。

収支差額から積立額を除いた金額は 64,660 千円（前年度 65,004 千円）となり、ほぼ前年並みとなった。

(2) 資源価格の高騰その他経費の増加への対応

資源価格高騰に対し法人及び各事業所において削減計画を策定、全職員で節減に取り組む。これにより法人全体の消費量は電気（前年比 0.6%減）、水道（前年比 9.3%減）、ガス（前年比 4.2%減）、燃料（0.6%減）と各項目で減少したものの、支出額では電気料で前年比増、燃料費も前年比微増となった。

また、給食費は食材料費（3.1%増）と委託費（1%増）共に増加、紙おむつ代（4.5%増）も増加した。これらは、利用者サービスに直接的な影響を及ぼすため削減対応は取りづらいが、食事代や受託事業の受託料の見直しなど収支への影響が最小限に抑えられるよう取り組んだ。なお、この期において中東情勢悪化による物資高騰の影響はなかった。

2. 各事業の状況

いなほ園、みずほ園は利用者の状態変化時の早期対応と入院後の医療機関との退院調整をスムーズにおこない空床期間（平均いなほ園5日、みずほ園3日）の短縮につながった。なお、新光園は上期、利用者の体調変化による入退所が多く発生、利用率は低下したが下期は状態も落ち着き、空床期間は目標とする平均7日間となった。また、高田の郷は適切な入退所及び指標管理により、一昨年から取り組む加算型体制を維持した。

施設名	利用率	介護度(前年)	サービス活動差額(前年比)
いなほ園	98.7%	4.2(4.1)	20,270 千円（ 2,686 千円）
新光園	97.8%	4.3(4.2)	7,347 千円（ 510 千円）
みずほ園	99.3%	4.5(4.5)	10,034 千円（ 1,568 千円）
高田の郷	94.9%	2.8(2.6)	5,089 千円（ △270 千円）

いなほ園デイサービスセンターは4月に多数の利用終了者があり5月以降(上期80%前半)苦戦した。この間、エリア拡大と重度化対応を掲げたセールスと重度者の利用ニーズに応えるためのサービス体制を整えた。しかし、新規利用(40件)が契約終了(46件)を上回り、結果、利用率は低迷した。

また、新光園デイサービスセンターは新規利用者が前年比で13名減少、契約終了者が上回り利用率は低下、特に複数回の利用者の契約終了に伴う補充が出来なかったことが大きく影響した。事業再生に向けた検討が急務である。

半面、高田の郷通リハの利用率は前年比4%改善した。さらに新規利用者の希望も多くあり、今後も高率が見込まれる。事業のリニューアルから3年を経て、事業形態は安定した。

施設名	利用率	介護度(前年)	サービス活動差額
いなほ園通所	87.3%	1.7(1.7)	9,051 千円 (△ 882 千円)
新光園通所	80.6%	1.7(1.7)	341 千円 (△5,591 千円)
高田の郷	94.2%	1.5(1.3)	12,257 千円 (7,027 千円)

グループホームは4事業とも退所から入所までの期間の短縮に向けた取組の成果により、比較的安定した結果となった。特に、宝寿については利用者の入退所も少なく、日頃からの体調観察と早期の受診が功を奏した。また、サービス活動差額は各事業所の節減努力と前年度の利用料改定も後押しし前年比で改善した。

ただし、敬寿は引続き、過大な減価償却費と光熱水費が大きく影響、収支バランスが取れない状態となっている。

なお、小規模多機能型居宅介護は光寿の家、本町楽寿の家どちらも前年比で大きく改善した。特に光寿の家の利用率は、これまでの営業努力と関係機関との連携の成果、さらには契約者の受入れ幅の拡大と相まって前年比14.5%改善した。結果、収益の増加によりサービス活動差額は前年比で大幅に改善した。

施設名	利用率	介護度(前年)	サービス活動差額
敬 寿	97.8%	2.0(1.9)	△7,660 千円 (182 千円)
なかよし寿の家	97.0%	2.0(2.3)	5,714 千円 (3,206 千円)
宝寿の家	99.5%	2.3(2.6)	1,394 千円 (748 千円)
百寿の家	97.4%	2.0(2.1)	6,242 千円 (18,305 千円)
光寿の家	97.3%	2.2(2.2)	2,038 千円 (8,992 千円)
本町楽寿の家	88.3%	2.0(1.8)	△1,997 千円 (7,043 千円)

3. 社会福祉法人フランシスコ第三会マリア園の事業譲受に関する準備状況

(1) 統括会議および各分科会による事業譲受の検討

マリア園職員を交えた経営層による統括会議を全 15 回、専門職員等で構成したサービス検討部を複数回開催、高齢者事業の構成やサービス体制、人員体制および就業規則、給与規程等の細部に互る検討をした。11月(第 12 回)には譲受に関する事項の詳細がまとまり以下の日程により理事会にて承認された。

①12月理事会・評議員会

事業譲渡契約と基本財産取得、規程変更等の上程と承認

②3月理事会・評議員会

譲受事業を含む新年度計画と予算案、定款変更の上程と承認

(2) 事業統合前の最終調整

役員会の承認後に事業譲渡契約と登記の手続き、新潟県および上越市への新規事業申請、4月の辞令交付式の準備など遺漏なく取組んだ。なお、職員についてはほぼ全員が転籍となり事業継続に影響はなかった。

①事業譲渡、譲受調印式 3月3日(火) 16:30～高田西城病院にて

②新規事業の認可(事業所番号の通知)

③辞令交付式 4月1日(水) 9:00～幹部職員 16:00～一般職員

4. 高品質かつ安定的なサービスの提供

(1) 安心されるサービスの提供への取組

特養、老健等を中心に ICT を活用した介護環境の整備または定着に取組み介護サービスの高品質化を進めた。新光園では ICT を活用したナースコールの深化により夜間帯業務の効率化が図られ、いなほ園では職員間の通信(インカム)を複数台導入、職員間の情報伝達の効率化など労働環境は大幅に改善した。なお、高田の郷ではノーリフティングケア(持ち上げない、抱えないケア)の実践を継続、職員の働きやすい環境の整備を進めた。

(2) 食事サービスの安定化に向けて

法人プロジェクトと新光園職員が中心となり、食事提供の課題(昨今の人材不足と食材料費の高騰、調達先の廃業等)の解決に向けた検討を重ねた。その後、理事長の判断とともに理事会承認により、4月からセントラルキッチンを活用した完全調理済み品による食事サービス提供することとした。なお、法人では初めての活用になるため導入後は課題に対するモニタリングを行い、その評価を基に今後の展開についてつなげることとする。

(3) 感染症対応について

平常時の予防対応及び健康管理の成果により、多くの事業所において感染症の発生、拡大は見られなかった。それにより、以前の生活環境に近づくよう面会制限

の緩和や園内・外出行事など少しずつ進め、施設生活の充実化を図った。なお、千寿園では設えの老朽化が影響し感染症の発生および拡大が複数回あった。

5. 人材確保・定着への取組

(1) 職員採用、定着への取組

令和8年度の新採用は介護職員2名、作業療法士1名、事務員1名の計4名となった。また、年度内の中途採用者は介護職員5名、看護職員2名、事務職1名、調理員1名。採用窓口は紹介会社経由が最も多く(5件)、ほか職員紹介やハローワークを通じた採用も極わずかあった。その他、法人が実施している介護員職員初任者研修修了者を臨時職員として6名採用した。なお、フランシスコ第三会マリア園の譲渡に伴う採用は管理者をはじめとした正職員、パート職員合わせて101名であった。

(2) 介護員養成研修及び専門的研修の実施

法人の研修(受託・指定)事業として介護員初任者研修(2カ月コース×2回、3カ月コース×2回)を計4回開催、22名が終了。また、実務者研修1回20名終了、喀痰吸引研修も17名が終了、地域の介護人材の養成及び育成に貢献した。

職員研修は採用時研修から等級別研修まで隈なく階層に分けた研修により全職員のスキル向上をおこなった。また、今年度より研修終了後の評価にGoogleフォームを活用することにより業務効率を高めた。

6. 各管理部の報告

(1) 総務部

① 求人活動

県内外の大学・養成校への訪問のほか、外部機関が実施する説明会に参加して求人情報の発信に努めた。また、法人主催の就職説明会を計2回開催した。その他、介護の魅力発信として、高校生のみならず若年層の参加を呼び掛けワークショップを開催した。今後は介護職種だけではなく幅広い職種に関する情報発信を行い、参加者の確保に努める。

② 働きやすい職場環境への取り組み

ハラスメントに関する研修を実施してマニュアルを周知した。職場環境改善委員会におけるストレスチェックや腰痛検診等は計画通りに進め、グループごとに集計や分析をおこなった。また、改正労働安全衛生規則の施行に伴う熱中症予防の取り組みや仕事と育児・介護の両立のための制度に関する情報発信により職員の意識啓発を進めた。

③ 職種別連絡会代表者会議

法人からの指示や意思伝達の機会としたほか、事業計画に沿って活動を進めた。

下期にはマリア園職員も参加することで相互理解に努めた。

④地域貢献活動

なおえつ海岸および高田城址公園での清掃活動を実施した。合計70名の参加があり、地域貢献と職員間交流の目的に沿った活動となった。

(2) 事業部

①アセスメントツールの変更

介護支援システム内のアセスメントツール変更について、各事業所担当者への説明機会を確保し、スムーズな移行を行った。

②認知症対応型共同生活介護の経営安定に向けた取組

待機者の安定確保のため、利用者確保サイト(みんなの介護)の活用方法を再確認した。また物価高騰により、食材料費や光熱水費、居住費の料金見直しを検討。令和8年6月から変更する予定とした。

③サービスの質評価の取組

法人全体のサービスの質の向上に向け、令和6年度に実施した、いなほ園、みずほ園の福祉サービス第三者評価受審結果の活用について検討した。さらに事業所代表者会議でサービスの標準化、高品質化に資する情報提供を行った。

(3) 財務部

①大型設備の更新

いなほ園電気設備の更新工事の1年目であり、修繕積立金を支払いに充当した。今後も基幹施設の高額設備更新を予定しており、自己資金による積立や銀行からの借入等、状況に応じた方法を検討した。

②物価高騰への対応

食材料費、介護用品費、消耗品費、水道光熱費等を中心とした事業運営コストの増大への対策として、経費削減の方法を検討し、効果的な方法を全体共有することで効率化を図った。

③勤怠管理システムの導入

新システム(クロノス)を4月より運用開始し、年次有休休暇管理、勤務実績確認の業務効率化について成果を得られた。また、さくら聖母の園の統合に向けて、主にネットワーク環境の諸課題の解決を図った。

(4) 情報部

①情報管理の見直し

法人共有サーバーを安全に活用するためにアクセス権限や更新ルールを定めたマニュアルを作成し周知した。職種別連絡会や事業所部会等法人を横断する組織活動において情報共有が効率よく行われるようになった。

また、法人全体で緊急通報安否確認システム(i ネットメール)を用いた BCP シミュレーション訓練を実施した。課題を計画の修正に繋げていく。

②いなほシニアネット事業の定着

計画通り法人広報誌を発行した。また日常的に活用している情報発信ツール(ブログ、X、クックパット)を更に活用するため課題の整理を開始した。各種情報ツールの活用状況は以下の通り。

X(旧 Twitter)のフォロワー数、いいね共に増加。クックパッドも好評。

ツール	投稿・発行数	アクセス数(延べ)	年度・その他・特記
ブログ	77 回	拍手 193 回	
X (旧 Twitter)	106 回	フォロワー(1,083)	R7 年度 フォロワー +96 人 いいね 518 回 ブログの更新についての ポストや昼食紹介のポスト が中心
クックパッド	1 件	閲覧数 892,684 回 保存数 10,966 回 印刷数 5,095 回 つくれば 33 件	R7 年度 閲覧数 95,703 回 レシピ保存 1,287 回 つくれば 17 件 傾向としてデザート系のレ シピの人気の高い
広報誌	2 回		メールアドレスで配信

7. 食事サービスプロジェクトの状況

令和 7 年度上期の取組をもとにクックチル食材の導入と移行を進めるため、以下の視点でさらなる具体的な検討とシミュレーションを実施した。

①適切な厨房運営の実現

クックサーブからクックチルへの変更に係るオペレーションを具体化し必要な人員構成を確定した。また献立発注、食材の納品検品及び温度管理、盛付までの工程を業者による指導と事前研修にて理解し実践した。また複数回のトライアルでは、介護職員に対する理解と利用者の喫食調査を依頼、遺漏のないよう慎重に準備を進めた。

②適正な収支バランスの確保

原材料価格、下処理や加工加熱に係る光熱水費、委託料等の導入前コストとクックチルシステム導入後のコストを比較し、より安定した収支差額が期待できるか検証し予算に反映した。

8. 研修関係

(1) 法人内研修

実施日	研修名	対象者	講師及び内容	参加者数
等級別研修				
3/24	新採用職員研修	法人内 新採用	〈研修センター、研修委員会主催〉 令和6年度中途採用、令和7年度新採用職員を対象に、法人の理念や行動規範を理解し、働くことに希望と誇りを持つ。	25
6/4 6/19 6/25	共通研修 (認知症ケアの視点から)	法人内 (1～3 等級職員)	〈研修センター、研修委員会主催〉 法人内キャラバンメイトによる「認知症サポーター養成講座」。認知症の当事者や家族、介護職様々な視点からの関わりを知り、認知症高齢者に優しい地域づくりに貢献できるようになる	86
7/10	初任者フォローアップ 研修Ⅰ	法人内 新採用	〈研修センター、研修委員会主催〉 福祉分野に初めて就職した職員を対象に、入職からの事故を振り返り、仕事に対する不安や悩み、意欲ややりがいなどを共有し、法人職員としての自覚と連係感を高める。	10
7/2	管理監督職研修 (労働法規について)	法人内 管理監督職	〈研修センター、研修委員会主催〉 〈労働基準監督署 職員〉 「介護従事者に対する労務管理」について労働基準法に基づき理解する	61
7/17 7/23 7/30	共通研修 (認知症ケア)	法人内 (1～3 等級職員)	〈研修センター、研修委員会主催〉 〈みずほ園 管理者 笹川 宏〉 権利擁護の視点から、認知症の人にとっての適切なケアを理解し、自分自身のケアを見直すとともに、身体拘束や高齢者虐待の防止の意識を深める。	73
10/20	初任者フォローアップ 研修Ⅱ	法人内 新採用	〈研修センター、研修委員会主催〉 介護・医療分野経験者で法人職員とした採用された職員を対象に入職からこれまでに振り返り、専門職としての職責や法人職員として求められる姿を再認識する。	5
11/11 11/20 11/28	共通研修 (認知症ケア)	法人内 (1～3 等級職員)	〈研修センター、研修委員会主催〉 〈上越ヤクルト販売株式会社 常務取締役 小林 高弘氏〉 自分自身の健康に焦点を置き、健康に働き続けるために、認知症予防と腸内細菌や健康管理について学ぶ	133

11/25	監督職研修 (常勤換算法の理解)	法人内 監督職	〈研修センター、研修委員会主催〉 介護保険事業所における職員配置の適正管理を担う監督職として、常勤換算の算出方法を正しく理解し、配置基準の順守と安定したサービス提供体制につなげる。	51
基本サービス研修				
5/12 ～5/26	基本サービス研修 (倫理・法令遵守)	法人全職員	〈ソーシャルワーカー連絡会〉 自身の職種に関連する倫理綱領を読み込み、その内容を自らの業務にどう活かすかを考える。 ※今年度より実施	319
8/18 ～8/31	基本サービス研修 (感染症予防)	法人全職員	〈介護支援専門員連絡会主催〉 様々な感染症や食中毒に関する意識を高め、知識を得る機会とする。	335
9/1 ～ 9/22	基本サービス研修 (高齢者虐待)	法人全職員	〈看護職連絡会主催〉 虐待に繋がるおそれのある「不適切ケア」について学び、自身の行うケアサービスについて考える機会とする。	334
10/14 ～10/31	基本サービス研修 (事故予防)	法人全職員	〈リハビリ連絡会主催〉 ヒヤリハットの目的を考え、事故の原因と対策、仕組みづくりのポイントを学び、実践につなげる。	297
10/17 ～10/30	基本サービス研修 (褥瘡予防)	法人全職員	〈食事関係職員連絡会主催〉 褥瘡予防に関する知識や技術を習得・再確認の機会とする。	319
スキルアップ研修				
8/19	スキルアップ研修 (完全側臥位法での 摂食)	法人全職員 (希望者)	〈研修センター、研修委員会主催〉 〈歯科衛生士会 会長 薄波清美氏〉 誤嚥を予防し、口から安全に食事摂取するためのポイント(姿勢、介助方法など)についての知識とスキルを習得する機会とする。	45

共通研修、管理監督職研修を等級別研修と再編し、各等級で習得すべき内容とした。また、共通研修のテーマを前年度希望が多かった「認知症ケアの視点」とし、1～3等級職員が学びやすい内容とした。基本サービス研修では、「倫理・法令遵守」について追加し、年度当初に自身の職種の倫理綱領について振り返る機会とした。研修終了後のアンケートを Google フォームとすることで、集計のしやすさは評価できた。

(2) 受託事業研修

事業名	実施日	概要
新潟県認知症研修事業	R7.6.10～R7.8.20	認知症介護実践者研修 34 名
	R7.9.30～R7.12.16	認知症介護実践者研修 33 名
	R7.11.6～R7.11.7	小規模多機能型サービス等計画作成担当者研修 22 名
	R7.9.8～R7.9.9	認知症対応型サービス事業管理者研修 42 名
喀痰吸引研修事業	R7.10.14～R7.10.31	(16 時間補講・半固形演習) 17 名
介護職員初任者研修	R7.4.3～R7.5.23	介護員養成研修(在職者訓練)1名 (障害在職者訓練)3 名
	R7.5.9～R7.8.8	介護員養成科デュアルシステム1 6 名 (企業実習型 求職者訓練)
	R7.8.21～R7.11.20	介護員養成科デュアルシステム2 3 名 (企業実習型 求職者訓練)
	R7.11.28～R8.1.27	介護員養成科 (求職者訓練) 8 名 (障害求職者訓練)1 名
介護福祉士実務者研修	R7.6.1～R7.11.30	介護福祉士コース 13 名
		医療的ケアコース 7 名

【評価】介護職員初任者研修については、在職者訓練に障害者も対象とし、研修対象の枠を広げ、3 名が資格取得している。喀痰吸引研修については、受講生、講師双方の負担を軽減し、16 時間の講義と演習の一部及び実地研修とした。これまでの基本研修については、実務者研修内で実施(e ラーニング)きるよう体制整備した。認知症研修についてはすべてをオンライン研修(実務者研修については一部集合)とした。受講のしやすさから、県内広くからの受講となった。

2. 各事業（グループ）の報告

（1）いなほ園グループ事業実施状況

特 養	（利用率）98.7% （前年）98.3% （前年比 0.4%増） ①利用率状況 ・入院による空床は 493 日（前年比 66 日減）、入退所に伴う空床は状態予測と関係機関との迅速な調整により平均 6 日（前年比 3.3 日減）となった。それにより目標を達成し過去 5 年のうち最も高い利用率となった。 ②収支差額状況 ・サービス活動増減差額 20,270 千円（前年比 2,686 千円増） ・事業費は前年比 2,066 千円、事務費は前年比 2,108 千円といずれも増加したが高い利用率により増収となった。 ③サービス実施状況 ・移動式走行リフトや無線通信機器（インカム）を導入した。適正に使用するため研修会や試行期間を設けて導入し、利用者の安全と業務の効率化に繋げた。その他、高齢者の口腔内を客観的に評価するアセスメントツール（O-HAT）を用いた口腔ケアに取り組んだ。いずれも次年度、活用状況の評価と更なる定着を進めていく。
通 所 介 護	（利用率）87.3% （前年）88.1% （前年比 0.8%減） ①利用率状況 ・新規 40 件（前年比 10 件減）、終了 46 件（前年比 3 件減）。 ・送迎エリアの拡大や重度者の積極的な受入れにより新規利用者の獲得に繋がったが入院、介護施設への入所等により終了者が多数となり目標に届かなかった。 ②収支差額状況 ・サービス活動増減差額 9,051 千円（前年比 882 千円減） ・軽度者の割合が増えたことと利用率の低下が収支に影響した。 ③サービス実施状況 ・医療的ニーズ（腎瘻カテーテル、経管栄養、喀痰吸引等）の高い方の利用希望があり専門職の役割や対応を決めて受入れた。重度者の受入れが可能な事業所としてさらに質を高めていく。
み の り の 家	（利用率）100% （前年）100% ①利用率状況 ・入居 2 件、退居 2 件、年度末待機者数 19 名と年間通して安定していた。 ②収支差額状況 ・サービス活動増減差額 3,226 千円（前年比 12 千円減） ③サービス実施状況 ・諏訪地区の作品展のため共同作品を作成し出品した。地域の活動へ参加しメディア等に掲載されることでやりがいに繋がった。
	【みずほ園】（利用率）99.3% （前年）99.4% （前年比 0.1%減） ①利用率状況 ・利用者の状態変化の予測と早期の入所準備を行ったことにより、入退所 6 件の内 5 件は平均空床日数を 3.6 日と短期間に抑えることが出来た。その結果前年に続き高い利用率となった。

米岡の郷	②収支差額状況 ・サービス活動増減差額 10,034 千円（前年比 1,568 千円増） ・人件費、事業費が増加したものの高い利用率により増収となった。 ③サービス実施状況 ・時間外に行っていた会議やカンファレンスについて業務時間と分担を見直し削減に繋げた。さらに働きやすい環境整備のため勤務シフトの公平化に向けたルール作りをした。 【光寿の家】（利用率）97.3%（前年）82.8%（前年比 14.5%増） ①利用率状況 ・新規 14 件、終了 12 件、前年の半数程度にとどまりさらに利用者の受入れ幅を広げたことにより平均登録者数が 23.6 人から 28.1 人に増加した。合わせて待機者を確保したことにより利用終了から新規利用までの期間が短縮し利用率が大幅に改善した。 ②収支差額状況 ・サービス活動増減差額 2,038 千円（前年比 8,992 千円増） ・新たな加算（訪問体制強化加算）と利用率の改善により前年比で大きく増収となった。 ③サービス実施状況 ・みずほ園と共に諏訪地区の様々な活動や町内行事、スポーツ大会などに職員、利用者と参加し地域の施設として交流を図った。また地震想定の炊き出し訓練を地域と共にに行い連携方法や施設の活用方法を確認した。
なかよし寿の家	（利用率）97.0%（前年）97.3%（前年比 0.3%減） ①利用率状況 ・入所 7 件、退所 8 件、入院 6 件と入退所が多く、状態低下による退所及び入院に伴う空床が 193 日と前年より 15 日増え目標利用率に届かなかった。 ②収支差額状況 ・サービス活動増減差額 5,714 千円（前年比 3,206 千円増） ・給食費や燃料費の削減により事業費を抑えたため前年を上回った。 ③サービス実施状況 ・特養いなほ園専門職の定期訪問や相談体制が定着している。そのため多様化する個別支援に適切に対応することが出来た。また、職員が安心して働ける環境づくりにもつながっている。
宝寿の家	（利用率）99.5%（前年）98.9%（前年比 0.6%増） ①利用率状況 ・空床 16 日と年間を通して利用者の入退所が少なく利用率は安定した。 ②収支差額状況 ・サービス活動増減差額 1,394 千円（前年比 748 千円増） ・事業費が増加したが利用率の安定により前年比で改善した。 ③サービス実施状況 ・地域の子供会との交流や地区公民館の作品展への参加、小学校の訪問など地域と交流を深める活動に積極的に取り組んだ。

(2) 新光園グループ事業実施状況

特 養	(利用率) 97.8% (前年) 96.3% (前年比 1.5%増) ① 利用率状況 ・入所 22 件 (前年比 5 件減)、退所 20 件 (前年比 9 件減)、入院 29 件 (前年比 8 件減)。利用者の体調安定から入退所等落ち着く。新規受入れまでの空床期間は平均 7.3 日と前年比 3 日短縮改善した。 ② 収支差額状況 ・サービス活動増減差額 7,347 千円 (前年比 510 千円増) ・複数の欠員を解消しさらに経験値のある職員を配置したことにより人件費は前年比 11,207 千円上昇した。 ・重度者のケアに対応するため移乗リフトなどのリース費用が嵩んだ。 ③ サービス実施状況 ・入浴サービスの安定実施のため、フロアの垣根を越えて職員を配置し、急な欠員にも確実に入浴できる体制を築いた。 ・ICT ナースコールのカメラ機能による夜間巡視は定着する。隙間時間の有効活用を図り、業務負担の軽減、効率化を実現した。
通 所 介 護	(利用率) 80.6% (前年) 86.0% (前年比 5.4%減) ① 利用率状況 ・新規 30 件 (前年比 13 件減)、終了 35 件 (前年比 4 件減)。上期との比較で利用者実数は月平均 11.3 人分減少し、利用率が大きく低下した。特に複数回利用者の終了後の穴埋めができなかった。 ② 収支差額状況 ・サービス活動増減差額 341 千円 (前年比 5,591 千円減) ・中重度利用者が複数減少し、基本サービス費、加算に影響した。 ③ サービス実施状況 ・職員採用時、療法士によるノーリフティングケア教育を実施。移乗動作でのスライディングシートを積極活用した。 ・利用者が作製したミニランドセル約 90 個を市内 4 か所の幼稚園等に届け交流活動を行った。
百 寿 の 家	(利用率) 97.4% 前年度 97.2% (前年比 0.2%増) ① 利用率状況 ・入退所各 7 件 (前年比各 3 件増)。11 月 12 月に計 5 件の入院から空床期間が 110 日発生し利用率に影響した。 ② 収支差額状況 ・サービス活動増減差額 6,242 千円 (前年比 18,305 千円増) ・前年度の減価償却費の過年度分訂正処理の影響によるもの。 ③ サービス実施状況 ・年間通して不安定な職員体制となり、他事業所からの助勤等でサービ

	ス提供を確保することができた。また、認知症介護リーダー研修の受講から加算取得、職員教育の準備を行った。 ・夏季に２度のインフルエンザＢ型流入があったが、発生時は速やかな対応に繋げることができた。
千 寿 園	(利用率) 99.3% (前年) 100% (前年比 0.7%減) ①利用率状況 ・入居 11 件、退居 10 件。身体状況に応じた居室の提供に時間を要したことや、ご家族の要望による月末 31 日付けの退居などにより、月初目標の満床は未達となった。 ②収支差額状況 ・サービス活動増減差額 7,503 千円 (前年比 5,581 千円増) ・上越市の温水対策に協力したほか、設備修繕で長期間施設の入浴設備が使用できず、水道光熱費は前年比 1,571 千円の削減となった。 ③サービス実施状況 ・感染症の集団感染が年 2 回発生したが、職員が連携して対応するとともに、終息後の評価を実施し再発防止を目指した。 ・新潟県福祉サービス第三者評価、上越市のモニタリングを受審。いずれも初めて受審してサービスの質向上に反映した。
ケ ア ハ ウ ス 上 越	(利用率) 100% (前年) 99.5% (前年比 0.5%増) ① 利用率状況 ・入居 9 件、退居 9 件。適切な入退居管理と連携調整により月初利用率目標を達成した。入居希望では、退院後や独居生活の不安による問い合わせが多くあり、関係機関と連携しながら待機者確保に努めた。 ②収支差額状況 ・サービス活動増減差額 △653 千円 (前年比 2,885 千円減) ・支出は人件費、給食費、水道光熱費が大きく増加した。 ③サービス実施状況 ・防災訓練では、入居者が火元発見者となり主体的かつ実働的な訓練となるよう工夫した。 ・創立 30 周年記念行事や外出行事の再開など入居者の心身に働きかける活動を積極的に実施した。

(3) 高田の郷グループ事業実施状況

老 健 入 所	(利用率) 94.9% (前年) 94.8% (前年比 0.1%増) ① 利用率状況 ・在宅復帰・在宅療養支援機能指標 40 点を目標に入退所管理を行い、全期を通じて加算型を維持した。 ・入所 86 件、退所 85 件のうち、病院から入所、または入院による退所が 108 件と全件数の 63.1%を占め、医療機関との連携が必須であった。 ②収支差額状況 ・サービス活動増減差額 5,089 千円 (前年比 270 千円減) ・収入は通年で加算型を維持し安定が図れた。 ・支出は給食費、業務委託費、手数料が増加。消耗品費、修繕費が減少。 ③サービス実施状況 ・年間を通じて不適切ケア防止に向けた月間目標を掲げ、利用者の権利擁護に対する意識向上とよりよい職場風土の形成に取り組んだ。 ・ノーリフティングケアの取り組みを継続し、腰痛予防や生産性向上の視点で整理整頓や環境の見直しを行った。
通 所 リ ハ	(利用率) 94.2% (前年) 90.0% (前年比 4.2%増) ①利用率状況 ・新規利用の問い合わせが多く、終了見込み者との調整を行った。 ・冬季の利用率低下を見越した夏秋季の利用率コントロールが奏功した。 ②収支差額状況 ・サービス活動増減差額 12,257 千円 (前年比 7,027 千円増) ・収入は利用率上昇に伴い増加。支出は食費が増加、修繕費が減少。 ③サービス実施状況 ・利用者の熱中症予防として水分補給時間の追加や環境改善を実施した。 ・新聞エコバックの頒布や近隣保育園・小学校と盛んな交流が行えた。 ・業務実態の把握、課題抽出、業務仕分けを実施した結果、適正なサービス提供時間と記録時間が確保できた。
敬 寿	(利用率) 97.8% (前年) 99.0% (前年比 1.2%減) ① 利用率状況 ・入所退所共に 7 件と多く空床期間が発生。入院退所も複数件あった。 ②収支差額状況 ・サービス活動増減差額 △7,660 千円 (前年比 182 千円増) ・収入は利用率低下に伴い減少。 ・支出は感染症対応等により給食費が増加。人件費、修繕費が減少。 ③サービス実施状況 ・感染症対策を行いながら地域のサロン、法人主催の清掃活動、運動会など地域の行事に利用者とともに参加した。 ・職員休憩スペースの設えを見直し、職場環境の改善に至った。

本町楽寿の家	(利用率) 88.3% (前年) 88.3% ① 利用率状況 ・新規 17 件、終了 14 件。入院 12 件あり急な契約終了が多かった。 ・要介護者と要支援者のバランスを見直しサービス量を適正化した。 ② 収支差額状況 ・サービス活動増減差額 △1,997 千円 (前年比 7,043 千円増) ・収入は要介護者が増加し、要支援者が減少して大幅に増加。 ・支出は給食費、修繕費が増加、光熱水費が減少。 ③ サービス実施状況 ・その日の気候や職員状況を鑑み、外出やベランダカフェ等を臨機応変に実施し、利用者に喜んでもらえる時間を提供することが出来た。 ・認知症状の進行や高齢に伴う生活状況の変化に対し、家族と相談しながら、サービス内容の調整、送迎時間の調整、見直しを行った。
居宅介護支援事業所	① 【給付管理数】 1,456 件 (前年) 1,516 件 (目標 1,680 件) ② 【予 防 件 数】 501 件 (前年) 487 件 (目標 360 件) ③ 収支差額状況 ・サービス活動増減差額 1,967 千円 (前年比 1,184 千円増) ・介護給付件数は新規に比して終了ケース数が上回り総件数が減少。 ・予防給付件数は包括からの依頼が多く、目標件数を上回った。 ・支出は人件費が減少。 ④ 実施状況 ・他法人事業所との合同研修会を企画実施した。研修会開催後は事業所内会議で課題を再度整理し、地域の課題として明文化した。 ・事業統合に向け、職場環境及び業務内容の見直しを行った。
地域包括支援センター	① 予防給付 1,117 件(うち委託 714 件) ② 総合事業 926 件(うち委託 517 件) ③ 収支差額状況 ・サービス活動増減差額 2,817 千円 (前年比 737 千円減) ・収入は受託内容見直しで減少。 ・支出では人件費、修繕費が増加。研修費、業務委託費、手数料が減少。 ④ 実施状況 ・障がい者等支援業務は新規相談が増加。福祉サービスの申請や障がい年金に関する相談等に継続して対応を行った。 ・生活困窮者支援業務は債務による生活困窮のケースが多く、家計支援や支払いの整理など行った。

(資 料 集)

【利用率】

①入所系

事業所	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均	目標値
いなほ園	99.4	97.9	98.9	98.9	97.9	98.9	98.9	97.9	99.5	99.2	99.2	98.1	98.7	98.3
新光園	95.1	93.9	96.8	96.7	97.1	97.7	99.6	99.4	99.8	98.9	99.1	99.4	97.8	98.5
高田の郷	91.3	91.4	94.9	95.5	93.6	97.3	95.8	93.7	95.1	96.0	97.7	96.1	94.9	96.0
みずほ園	99.7	98.6	99.1	99.9	98.3	99.2	100.0	97.1	100.0	100.0	100.0	100.0	99.3	98.5

②在宅系(デイサービス・通所リハビリ)

事業所	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均	目標値
いなほ園	92.3	83.5	85.4	84	81	80	86.8	88.1	90.6	87.3	92.2	96.5	87.3	90.0
新光園	86.3	86.3	84.6	86.5	85.1	77.3	76.9	75.3	78.9	74.6	79.1	76.9	80.7	90.0
高田の郷	96.1	92.4	92.7	95.4	93.1	97.6	100	91.6	90.9	86.9	95.2	98.2	94.2	90.0

③軽費・ケアハウス

事業所	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均	目標値
千寿園	100.0	100.0	100	100	100.0	100	100	98.0	100.0	100.0	98.0	96.0	99.3	100
ケア上越	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
みのりの家	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100

④グループホーム

事業所	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均	目標値
敬寿	96.7	98.6	95.9	99.6	97.8	100.0	100	97.4	100	96.1	96.4	94.6	97.8	99.0
なかよし寿	98	97	96	94	95	92	98	98	100.0	100	98	98.7	97.0	99.0
宝寿	100	100	100	100	100	100	100	99.3	95.0	100	100	100.0	99.5	99.0
百寿	98.15	100	100.0	99.3	100	97	94.4	88	91.2	100.0	100.0	100	97.4	99.0

⑤小規模多機能型居宅介護

事業所	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均	目標値
光寿	96.0	98.9	100.0	99.3	96.5	98.0	100.0	97.6	96.5	91.8	94.4	99.0	97.3	90.0
本町楽寿	87.1	91.9	84.9	90.8	93.1	90.6	89.3	79.7	89.2	87.8	86.5	88.7	88.3	90.0

⑥居宅介護支援事業(介護給付管理数)

事業所	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均	目標値
いなほ園	127	124	116	122	117	112	117	116	120	125	129	131	121	140

【要介護状況】

3月末日現在

事業所	要支援1.2(総合事業含む)	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	平均	前年度
いなほ園		1	2	12	75	44	4.2	4.1
新光園		1	1	9	33	36	4.3	4.2
高田の郷		25	16	32	20	4	2.8	2.6
みずほ園		0	0	1	13	15	4.48	4.48
いなほDS	18	39	19	7	8	5	1.7	1.7
新光園DS	27	18	23	14	9	1	1.7	1.7
通所リハビリ	15	27	13	6	5	0	1.5	1.3
千寿園	14	9	2	0	0	0		
CH上越	10	13	1	0	0	0		
みのりの家	2	10	4	0	0	0		
敬寿	0	3	3	2	1	0	2.0	1.9
なかよし寿	0	8	5	1	2	1	2.0	2.3
宝寿	0	1	4	4	0	0	2.3	2.6
百寿	0	4	10	3	1	0	2.0	2.1
光寿	9	9	6	4	2	0	1.8	2.2
本町楽寿	4	5	8	8	1	0	2.0	1.8

【リスク管理】

①事故発生状況

	いなほ園	新光園	高田の郷	みずほ園	いなほDS	新光園DS	高田の郷DC	千寿園	CH上越	みのりの家	敬寿	なかよし寿	宝寿	百寿	本町楽寿	光寿
死亡	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
入院	2	1	4	1	0	0	0	7	0	4	0	5	1	1	0	0
受診	14	18	25	2	1	0	0	5	1	3	0	2	1	2	0	1

②苦情受け付け状況

	いなほ園	新光園	高田の郷	みずほ園	いなほDS	新光園DS	高田の郷DC	千寿園	CH上越	みのりの家	敬寿	なかよし寿	宝寿	百寿	本町楽寿	光寿
ケア内容	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
職員対応	1	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
利用料	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
制度	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0